

非アルコール性脂肪肝炎の 診療の進歩

東京女子医科大学消化器内科 児玉 和久, 徳重 克年

KEY WORDS

- 非アルコール性脂肪肝炎
- 非アルコール性脂肪性肝疾患

Nonalcoholic steatohepatitis :
progress in diagnosis
and treatments.

Kazuhisa Kodama (助教)
Katsutoshi Tokushige (教授)

はじめに

近年, 肥満人口の増加・高齢化に伴って, メタボリックシンドロームの患者数の増加が指摘されている。そのなかで, メタボリックシンドロームの肝臓の表現型としての非アルコール性脂肪性肝疾患 (nonalcoholic fatty liver disease ; NAFLD) ・非アルコール性脂肪肝炎 (nonalcoholic steatohepatitis ; NASH) の増加が懸念されており, その病態解明, 新たな検査法の導入, 治療薬の開発が求められている。この稿では NAFLD ・ NASH の病因・病態・診断・治療に関する最新の知見を解説する。

I. 疫学

食習慣の変化は, 肥満人口の増加と代謝疾患を欧米諸国のみならず, 多くのアジア諸国にももたらした。そのため, NAFLD の頻度も増加してきている。

NAFLD の頻度および重症度には年齢・性・人種差が存在する。NAFLD の頻度は欧米諸国で 20 ~ 40%, アジア諸国では 12 ~ 30%, わが国では 9 ~ 30% と報告される。NAFLD の分布はヒスパニックが最も高頻度で (45 ~ 58%), 白人 (33 ~ 44%) とアフリカ系国人 (24 ~ 35%)¹⁾²⁾ に多く認めるが, 近年, わが国でも NAFLD の頻度は増加している。Eguchi らは 2009 年 ~ 2010 年の検討で, わが国の NAFLD 頻度は 29.7% に上ると報告している³⁾。性差に関しては, NAFLD は男性の 30 ~ 40%, 女性の 15 ~ 20% に認められ, 中年男性と閉経後の女性に多く診断される²⁾。NASH は NAFLD の 10 ~ 20%, 日本では 1 ~ 8% と推定されている⁴⁾。

NASH のハイリスク因子として肥満があげられるが, 肥満者における NASH の頻度は 33% (10 ~ 56%) と推定される⁵⁾。また, 年齢 50 歳以上, メタボリックシンドロームとその関連疾患 (2 型糖尿病・脂質異常症・高血圧